

		基礎1(1年目)	基礎2(2年目)
目的		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人・組織人としての自覚を持ち、専門職者としての自立を目指す</li> <li>・基本的な看護知識・技術・態度を習得し、臨床看護実践の能力の向上を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な看護サービスを提供するために、良い人間関係を築くコミュニケーションの方法と、看護課程の基礎について理解する</li> <li>・受け持ち患者の個別性を踏まえた看護計画を立案し適切な看護実践が出来、評価出来る</li> </ul>
目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活援助の基本技術を身につけ、当院の特徴を踏まえた基本的援助が出来る</li> <li>・看護実践において報告・連絡・相談の必要性を理解する</li> <li>・社会人・組織人専門職業人として、自覚した行動が取れる</li> <li>・良い人間関係を築いていくことが出来る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け持ち看護師として受け持ち患者の看護課程が展開出来る</li> <li>・受け持ち患者や家族とのコミュニケーションが取れ、良い人間関係を築くことが出来る</li> <li>・受け持ち看護師としての役割を自覚し、医療スタッフに報告や助言を求められることが出来る</li> </ul>
臨床実践能力の到達度	看護サービス実践能力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な看護技術について正しい知識・技術を理解し、マニュアルに沿って実践出来る</li> <li>2. 担当患者の看護計画に基づいた看護を実践出来る</li> <li>3. 病棟の特性を理解し、チームメンバーとして行動出来る</li> <li>4. 与えられた仕事に対して責任を持って成し遂げることが出来る</li> <li>5. 患者の状態の正常・異常について報告・連絡・相談が出来る</li> <li>6. 異常を判断し、対処法を報告・連絡・相談が出来る</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な看護技術を安全・確実に実践できる</li> <li>2. 看護課程を理解し、臨床の看護を生かすことが出来る <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け持ちの患者のアセスメントが出来る</li> <li>・看護問題の要因・徴候がとらえられる</li> <li>・具体的に看護領域の目標が設定出来る</li> <li>・患者、家族と共に計画を立案し実践出来る</li> <li>・目標の達成度を患者と共に評価出来る</li> </ul> </li> <li>3. 患者の症状と反応を観察し、異常について報告出来る</li> <li>4. 緊急時は指示を受けながら行動出来る</li> </ol>
	マネジメント能力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分に出来ること、出来ないことを明確にし、他のメンバーからの指導・援助を進んで受けられる</li> <li>2. 業務の優先順位が分かり、指導を受けながら1日の行動計画について実践することが出来る</li> <li>3. 就業規則、職場ごとのルールを守っている</li> <li>4. 病棟の行事に進んで参加し、自己アピールが出来る</li> <li>5. 自己の生活を健康的に整えている</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病棟内メンバーと円滑な関係を保ち、一定の時間内にケアを完了出来る</li> <li>2. チームメンバーとして後輩の相談・志道に協力出来る</li> <li>3. 自分の出来ること、出来ないことを明確にし、他のメンバーからの指導・援助を求められることが出来る</li> <li>4. 必要な情報をチーム内に報告・相談出来る</li> <li>5. 自分で健康管理が出来る</li> </ol>
	人間関係能力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者及び家族との関係を円滑に保つことが出来る <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の立場を理解し、受容出来る</li> <li>・相手を尊重する態度が取れる</li> <li>・問題が生じたとき、報告・連絡・相談が出来る</li> </ul> </li> <li>2. チームメンバーとコミュニケーションを取ることが出来る</li> <li>3. 明るく笑顔で挨拶が出来る</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 関連部門の役割について理解し、協力的に関わることが出来る</li> <li>2. チーム医療を理解し、医療チームメンバーとコミュニケーションをとることが出来る</li> <li>3. 患者及び家族との関係を円滑に保つことが出来る</li> </ol>
	教育・研究能力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必要な知識を身につけるために自己学習ができる <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内や病棟の教育計画に参加出来る</li> <li>・カンファレンスに参加し、自己の意見を述べられる</li> <li>・日々の業務の中で自己の学習目標を明らかに出来る</li> <li>・割り当てられた課題について学習し、発表出来る</li> </ul> </li> <li>2. インシデントレポートの検討に参加する</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 院内や病棟の教育プログラムに積極的に参加出来る</li> <li>2. 学生の隣地実習を援助し、アドバイスが出来る</li> <li>3. インシデントレポートの検討が出来る</li> <li>4. 看護事例を看護課程に沿ってまとめることが出来る</li> <li>5. 研究に関心を持ち、部署の研究テーマを知ることが出来る</li> </ol>
教育内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 接遇研修</li> <li>2. 病院組織と機能の理解</li> <li>3. 医学的基礎知識の学習</li> <li>4. 看護基準・看護手順の学習</li> <li>5. 感染予防</li> <li>6. リスクマネジメント・事故防止</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 受け持ち患者さんの看護過程を展開し、検討</li> <li>2. 人間関係を理解するための学習</li> <li>3. コミュニケーション技法についての学習</li> </ol>	
教育方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職場内教育</li> <li>2. 病棟毎の学習会</li> <li>3. 集合教育(講演・講義・グループワーク)</li> <li>4. 看護技術チェック表・評価表</li> <li>5. レポート・発表会</li> <li>6. フィジカルアセスメント研修</li> <li>7. 救急シミュレーション</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職場内教育(受け持ち患者の看護過程実践)</li> <li>2. 集合教育(講義・グループワーク)</li> <li>3. レポート・発表会</li> <li>4. 看護技術チェック表・評価表</li> <li>5. フィジカルアセスメント研修</li> <li>6. 救急シミュレーション</li> </ol>	